

# 赤星

THE SEKISEI (RED STAR/ROTE STERN)

編集 共産主義者同盟 (DER BUND DER KOMMUNISTEN)

発行所 蜂起社 東京都江東区大島3-9-25/TEL 03-5626-8262

発行人 南 安明 <振替> 00120-2-1512 蜂起社・南安明

月刊

7-8月 2005年 (No.47 通巻389号)

本号300円

年間購読料 1部3000円 (送料別)  
(送料) 密封1000円 開封800円

紙面案内

- ① G8サミットとロンドン爆破テロへの我々の見解
- ②-④ 反グローバリズムと反排除の「持たざる者」は連帯し世界を変える
- ④ 山谷/共謀罪/沖縄/夏季カンパ

お知らせ 次号は9月中旬発行です。

## 失業・貧困・社会的排除に抗し「持たざる者」の国境越えた連帯で

# 反グローバリズム運動へ!



7月6日、G8サミット開催に反対して高速道路を占拠するデモ隊 (ロイター)



7月4日、英エディンバラでG8に抗議するデモ隊 (AFP)



5月29日、パリでEU憲法投票で「ノン」を突き付けた反対派市民 (AP)

### G8サミットとロンドン爆破テロへの我々の見解

石油危機(オイル・ショック)への対応を迫られた先進資本主義国(G7)の首脳会議として75年この年はまた南ベトナム・サイゴンが解放(4・30)された年でもあった。から始まったサミットだが、今回の英国でのG8は、政治的には、7・7ロンドンの同時爆破テロに見舞われ泥沼化したイラク戦争の「代償」の大きさを改めて突き付けられたこと、経済的には、原油高への有効な対応策を打ち出せなかったこと、このことにより、G8サミットの政治的・経済的無力―国際協力の役割を果たさず―、機能不全が浮き彫りになった。

アフリカの貧困支援と地球温暖化対策を二大テーマにした慈善的パフォーマンスの演出によって、イラク戦争の泥沼化とG8各国間の対立から内外の目をそらすとした議長国英国フランスの政治的思惑は、サミット開催当日に合わせてロンドン市民を襲った7・7同時爆破テロによって吹き飛ばしてしまった。

同時に「テロとの戦い」に勝利しつつあると強がる米国ブッシュ政権にとってイラク戦争の最大の同盟国しかもサミットを襲った「7・7テロ」事件が大きなダメージとなったことは間違いない。「テロとの戦い」の盟主を自認する唯一の軍事超大国・アメリカ帝国主義にとっては、イラク戦争を巡って生じた米英日

伊と仏独口などとの間の亀裂を各国の思惑を越えて修復し「平時モード」への切り替えを図ろうとしていた目論みも完全にはずれた。

サミット参加の首脳たちは、「テロとの戦い」で表面上は結束を確認し強気のポーズを示した。だが、それは裏腹に目に見えぬ憎悪と「テロ」の影に神経をとがらせる姿には、米ブッシュ政権が主導してきた対テロ戦争の戦略自体―その破綻と詭弁―への明らかかな動揺が見取れる。対テロ国際協調体制を立て直せる日は依然として遠いという実情が透けて見えるのである。

「9・11同時テロ」事件以後、その報復として米国の主導のアフガニスタン戦争で始まった対テロ戦争は、それ自体が、「テロの脅威」を高める同时对テロ戦争を世界的規模に拡大(グローバル化)するといふ、いわば「終わりのない戦争」になっている。しかも今回の「7・7ロンドン同時テロ」事件は、イラク侵略戦争―占領政策が、アラブ民衆の米英への敵意を増し「テロ」の土壌を提供したことを裏付けた。まさに「世界の憲兵」「テロとの戦いの盟主」を自認するアメリカ帝国主義こそが、世界中に戦争の火種を吹きこぼす「マッチ・ポンプ」の役を演じている最大の「テロ国家」に他ならないからである。

9・11や今回の7・7の「同時テロ」事件は―いままでの動機は示されてはいないが―罪のない民衆を明らかに標的にした卑劣な無差別大量殺人であるといふことにおいて、我々はプロレタリアの団結と解放闘争に―とりわけインターナショナルな連帯に―まったく奇与しないばかりかイラクやパレスチナ民衆の占領に対する抵抗―解放闘争の前進とも無縁であるとする。抽象的でなく具体的には9・11や7・7のような卑劣なテロリズムを容認することができないからだ。良い核爆弾攻撃などないと同様に「良い無差別大量殺人攻撃」などない。かつて日帝の侵略戦争に憎悪を燃やしていた中国・朝鮮人民が広島・長崎への原爆投下に歓喜したからといって、それを支持できるのかを考えてみればよい。

だが、アフガニスタンやイラクを「テロとの戦い」の名をかりて侵略・占領した米ブッシュや英フランスは、今回のテロ事件を嘆く資格もその卑劣さを断じる資格もない。アル・カイダに対して批判を持っている者も多しといわれるイスラム主義者たちを、文字通り「原理主義的」に無差別テロに傾斜させている元凶は、今もイラクを占領し罪のない民衆を何万人も無差別に殺りくしている米英軍だ。イラク侵略・占領という戦争犯罪を野放しにしたまま、ブッシュやアラブが、いかにアフリカ支援だの地球温暖化対策だの慈善家を装っても、この重大な犯罪行為から世界の目を欺き方々ブッシュするといふ姑息な手法は通じないのである。

今回のような悲惨な無差別テロ事件に我々は暗然とした気持ちにかられる。だが、反テロに名をかりた治安強化や愛国心が称揚される中で―ブッシュのようにイスラム教徒をテロと短絡的に結びつけるような―人種差別主義(レイシズム)に押し流されることなく、反戦・撤兵の声をあげる民衆が少なからず存在することに、我々は希望の光を見る。

「イラクのことは毎日気がかけている。我々の部隊は掃手を振り、そこがいかに危険かを知っている」。これは6月20日、米大統領ブッシュ自身が記者団に対してイラク情勢に焦燥感を募らせていることを率直に吐露した発言だ。また6月23日、米上院軍事委員会の公聴会で、イラク戦争を統括する米中東司令官アヒサイドは「武装勢力の戦闘能力は半年前とほぼ同じ」と証言。武装勢力による抵抗はますます泥沼化・長期化するイラク戦争に打つ手に窮しているというのが米の現実なのである。これをシナリオ通りと見るのは米の誤算を擁護するようなものだ。

開戦直後に75%だったイラク戦争への支持率は、6月調査では4割以下に下落し反対は過去2年で最高の6割に達した。

イラク戦争の泥沼化でブッシュの「戦時大統領」の神通力も地に落ちていくのだ。こうした厳しい世論にある米は、米軍増派―長期駐留もイラク政策の失敗を露呈することになるといふシレンマを抱える。

米の尻馬に乗ってイラク占領に加担した日本なども棄大を掘るのは必至だ。イラクから自衛隊―全占領軍は直ちに撤兵しろ!

# 反グローバリズムと反排除

## 「持たざる者」は連帯し世界を変える!

### 《下》

#### 横渡

失業と貧困・社会的排除 人々を搾取し抑圧し暴利を

「持たざる者」に 対しては、人間的な

「持たざる者」は、怒り、抵抗、連

「持たざる者」は、怒り、抵抗、連

「持たざる者」は、怒り、抵抗、連

「持たざる者」は、怒り、抵抗、連

「持たざる者」は、怒り、抵抗、連

「持たざる者」は、怒り、抵抗、連

「持たざる者」は、怒り、抵抗、連

「持たざる者」は、怒り、抵抗、連

「持たざる者」は、怒り、抵抗、連

「持たざる者」は、怒り、抵抗、連

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

「グローバル化」の増大を背景に

# 「持たざる者」の怒りと抵抗と連帯で 全世界を変革し獲得することは可能だ!

(2面から続く)

この論理は、法の正統性を市民が問うて直し、現状において正統性の根拠を失った法律に服従しないことを呼びかけるものである。(中略)六〇万人が定住所を持たず、三〇〇万人が失業しているといわれる現在も、現行の制度はこれらの人々を『マージナル』としてあつかい、『社会から排除されている人々』だから、社会に再統合すべき対象とみなす。つまり、現在の社会政策は、現行の制度を強化こそすれ、制度の正統性を問い直すことにはない。」

「稲葉奈々子『市民のアソシエーション』第4章 公共空間を「占拠」する アソシエーション、太田出版」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「ホームレスや失業など貧困をめぐる問題を、それぞれ個別な存在としてではなく『社会的排除』の構造の中で相互に関連するものとして把握される必要が訴えられた。」

「『職がない、住宅がない、社会保障がない、収入がない、職業訓練経験がない、市民権がない……今日フランスでは、こうした状況を数百万人が経験しています。これが『持たざる者』の『インシテラブル』を意味する市民団体の見解です。」

「今日の運動の第一の成果はこの運動自体です。運動の存在自体です。この運動は失業者をまた、日々その数が増えている不安定就労者を見えない状態から、孤立から、沈黙から、要するに非存在から、救い出しました。」

「失業と失業者は労働と労働者に『霊』のように付きまといています。工業、商業、教育、演劇、映画などの分野で働く臨時の、パートタイムの、期間契約の労働者は、失業者との間には、また、彼ら相互の間にも、大きな違いがあるとはいえない。」

「『持たざる者』によるフランスの『新しい社会運動』を社会的に認知させるのに貢献したのは、著名な社会学者、ピエール・ブルデュエである。彼は公務員のスライキを支持する声明を出したり、高等師範学校を占拠した失業者の応援演説にかけつけた。そこで彼は、こう語った。」

「『いま進められている失業者の運動はきわめてユニークな、通常のでない事態です……このフランスの例外こそは私たちが大いに誇ってよいものです。中略』左翼の政治家や労働組合の幹部たちが、陰で練っている連中が、いかに非難したのにも関わらず、十九世紀の経営者が創生期の労働組合を非難したのと同じ言葉です。活動家たちの粘り強い努力がなかったら、社会運動なるものはまだかつてありえなかったであろうことは明白でありませんか。」

「『この運動の第一の成果はこの運動自体です。運動の存在自体です。この運動は失業者をまた、日々その数が増えている不安定就労者を見えない状態から、孤立から、沈黙から、要するに非存在から、救い出しました。』

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

## 「持たざる者」は 希望を取り戻す!

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

「『持たざる者』の運動は、『失業・排除・社会的地位の不安定化に反対する運動』を掲げて『声なき者の声の表明』を訴える複数の運動の総体である。」

# 6・25 船本洲治焼身抗議30年 現在に引き寄せる討論集会

6月25日、「船本洲治の死から30年を経て」と題して、現在に引き寄せて考える討論集会が、文京シビックセンターで、約70人が参加して行われた(主催・船本洲治30年討論集会実行委員会)。

1968年から70年代にかけて山谷、釜ヶ崎において現場の闘いを先頭で担った活動家・船本洲治は、1975年6月25日、沖繩・嘉手納基地の前で「山谷釜ヶ崎の仲間たちよ。黙って野たれ死ぬな」とのメッセージを残し「焼身抗議」

の地帯をふまえたところで、船本洲治の死をめぐって、3人の提起を受けて、会場から質疑を交えての討論に移る。船本が提起した新たな変革主体と労働力再編をどう捉えるのかなど、多くの意見や質問が活発に出され、十分に議論を深めるまでにはいかなかった問題として提示し、米国内が、有意義な討論集会としておける都市下層の位置、流

「持たざる者の団結、反排除、反失業闘争の前進を、」

「持たざる者の団結、反排除、反失業闘争の前進を、」

## 山谷夏祭り

8月6日(土)雨天は7日(日)午後5時、山谷玉姫公園

# 6・23 普天間閉鎖と辺野古新基地撤回求め集会

6月23日、「沖縄憲法の歩み、そこであぶりだされ、日米同盟閉鎖と辺野古新基地撤回を求める集会」が、東京・南大塚ホールで約200人の参加で行われた。

この集会は、普天間基地と辺野古新基地建設をめぐる闘いの地平と局面をふまえて、歴史的に捉え直し、5日(土)に2万4千人による普天間基地包囲行動の成功が、いかに大きな影響力を及ぼしているかを説き、基地撤去まで力を合わせて闘い抜くことを訴えた。

講演の一人目は、参議院議員の大田昌秀さん。大田さんは、自ら体験した沖縄戦から戦後の沖縄の苦難の

「現代の世界各国が抱える雇用不安の背後にあるのは、たんなる景気循環の谷間あるいは長期不況ではないでしょう。もはや不況からの脱却が雇用の回復を保障するものではないのです。資本蓄積の変化が労働市場の構造を委縮させてきているのです。」

「米連邦準備制度理事会(FRB)のアラン・グリーンスパン議長は、彼が監督するアメリカの経済効果を高める際に、成功した理由として、職業の不安定化から従業員への給与の抑制が進み、その結果として雇用者が人件費のコストを削減できた」と強調しています。世界銀行もこれに同意しています。世界銀行は「労働市場の柔軟性」が「速まわしに賃金の低下と解雇を招き、悪評を受けた」ことを認めています。世界銀行が求められている。最優

## 夏季カンパを訴える

共産主義者同盟(蜂起派) 赤星 読者の皆さん、

戦争とグローバリゼーションに抗する闘いが全世界で燃え広がっています。我々はこの間、慮げられし者の底辺からのラディカルな怒りと抵抗とインタナショナルな連帯で、反戦・反排除・反グローバリズムの国際連帯行動を目指して奮闘してきました。とりわけ、パレスチナ・韓国・北朝鮮の闘いと国境を越えて連帯し、社会的排除に抗する「持たざる者」の団結と大衆行動をさらに押し広げることが求められています。

我々は、いかなる困難も乗り越えて、この闘いの前進を通して21世紀にプロレタリア解放運動・共産主義運動を再生させる一歩を築く決意です。そのためにも、党建設・フンド再建への道を進めてゆかねばなりません。

我々は現状に止まることなく、情熱とポリシーをもって新たな地平を切り拓くべく闘います。同志・友人・読者の皆さん、夏季カンパの圧倒的な集金を是非ともお願いします。

先人の改革には、公共サービスと労働協約の関係を断ち切り、労働の移動(流動)性と賃金の柔軟性への制限を撤廃することが含まれている」と述べているのです。つまりこの考え方は、労働者の解雇や賃金の引き下げ、労働者の利益を損ねることなどが、経済の繁栄にとっては多大な貢献をもたらすというのです。

「この問題となるのは、グローバル資本は国民国家に要求をおこない、国民国家は新しい法形態を創りだすことによってそれに応じた、というところである。『中略』国民国家が重要性を喪失しているという単純な性格付けの観点では、この重要な事実を看過することになり、実際に起こっていることをグローバルとナショナルの二重性の機能に単純化することになる。『中略』そうではない、わたしは規制緩和を、国家による支配の喪失というだけではなく、グローバリゼーションを遂行するための国家間のさまざまな合意と、国家の法制度が契約や所有権の保証を確保する主要なあるいは決定的な制度であるという事実が、並存する状態を調整する、決定的なメカニズムと捉えている。」

「国民にとって重要なことは反資本主義者、環境保護者、社会主義者、労働組合員などが一致団結して政治運動を起こすことである。団結が必要だ。団結を旗に掲げ、でも必ずしもそれに従わなくてもよい。私は尊敬し合うことが大切だと思ふ。反戦運動から起る尊敬の気持ちは団結させる最良の機会であり、人々が何を懸念しているのかを参加するべきだろう。すべての人が参加し、うまくいくように努力するべきである。」

「未来は非常に実践的だと思ふ。映画『ブレット&ローズ』(ケン・ローチ、英映画監督)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)

「未来は非常に実践的だと思ふ。映画『ブレット&ローズ』(ケン・ローチ、英映画監督)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)

「未来は非常に実践的だと思ふ。映画『ブレット&ローズ』(ケン・ローチ、英映画監督)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)

「未来は非常に実践的だと思ふ。映画『ブレット&ローズ』(ケン・ローチ、英映画監督)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)

「未来は非常に実践的だと思ふ。映画『ブレット&ローズ』(ケン・ローチ、英映画監督)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)

「未来は非常に実践的だと思ふ。映画『ブレット&ローズ』(ケン・ローチ、英映画監督)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)

「未来は非常に実践的だと思ふ。映画『ブレット&ローズ』(ケン・ローチ、英映画監督)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)

「未来は非常に実践的だと思ふ。映画『ブレット&ローズ』(ケン・ローチ、英映画監督)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)

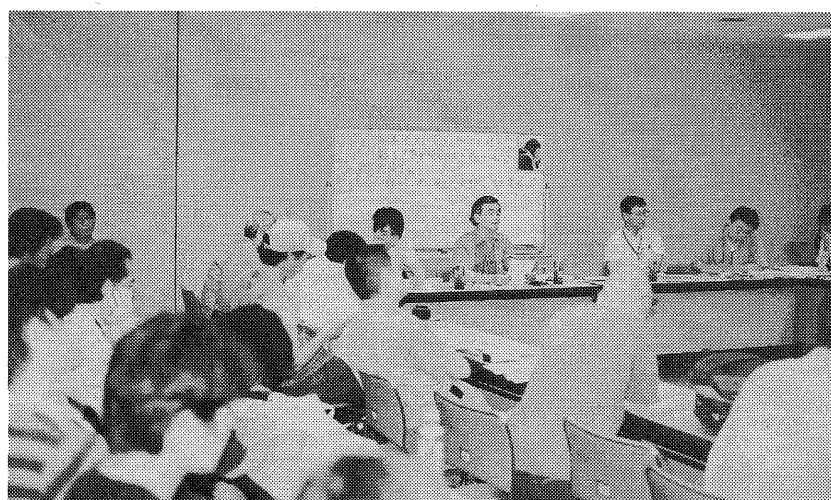
「未来は非常に実践的だと思ふ。映画『ブレット&ローズ』(ケン・ローチ、英映画監督)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)

「未来は非常に実践的だと思ふ。映画『ブレット&ローズ』(ケン・ローチ、英映画監督)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)

「未来は非常に実践的だと思ふ。映画『ブレット&ローズ』(ケン・ローチ、英映画監督)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)

「未来は非常に実践的だと思ふ。映画『ブレット&ローズ』(ケン・ローチ、英映画監督)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)

「未来は非常に実践的だと思ふ。映画『ブレット&ローズ』(ケン・ローチ、英映画監督)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)『G8ってナンですか?』(トム・チョムスキー)



6・25 船本洲治焼身抗議30年討論集会。(文京シビックセンター)

# 共謀罪成立阻止・廃案へ

7・7集会—12~14ハリスト闘争を貫徹!

今国会に提出されていた共謀罪は7月12日、衆議院法務委員会審議が開始された。ここへ来てマスコミ各紙もようやく共謀罪の危険性を報道し始めている。「治安立法へ条約を曲解」「(東京)『話し合い』処罰に波紋」(毎日)「国際性的な名を借りた処罰対象を拡大」(朝日)「どんなでもな法律がつけられようとしている」(日刊ゲンダイ)など、いずれも疑念と危惧の論調だ。

第一回の審議では、質問に立った自民党や公明党の議員ですら対象範囲の拡がりの思想の自由の侵害について疑問が出され、冒頭から問題点が露呈する形になった。政府・法務省は7月下旬には衆議院採決を持ち込んで、8月13日の会期末までに参議院を通過させ、共謀罪は希代の悪法と

「持たざる者の団結、反排除、反失業闘争の前進を、」

「持たざる者の団結、反排除、反失業闘争の前進を、」